

11月祭事務局



今年も11月祭の季節がやってきましたね。出店したり、企画を出したり。あるいはステージを見たり、模擬店で買い物をしたりと、読者の方もそれぞれの形で参加なさることでしょう。今回取材させていただいたのは、11月祭の企画運営をしている事務局です。京大生にとっても、学外の方にとってもビッグイベントである11月祭を行うことへの思いを語っていただきました。

代表の方にインタビューしました!!

11月祭事務局 代表

いいだ まさひろ
飯田 雅大 さん



——活動のスケジュールを教えてください。

基本的に年間を通して、月・木曜日に例会があります。5月に1回生が入局すると、広告集めのための電話かけ、看板や広告のデザインや作成を行います。7月から11月は11月祭に向けて企画等を募集して、説明会を開いたり、業者と具体的な連絡をとり計画を詰めていったりする時期です。特に9月から11月は実働期と呼んでいますが、企画の募集が終わって具体的に対応していく期間です。それが終わったあとは今年度の反省をし、引継ぎ期間となります。

——11月祭を企画するにあたって大切にしていることは何ですか？

事務局だけでは11月祭はできませんし、私たちは企画さんと呼んでいるんですけど、企画を出して下さる京大生がいるから11月祭を毎年開催できています。そうした企画さんを第一に考えて活動することを大切にしています。

——うれしいと感じる瞬間は

どのような時ですか？

模擬店やステージ企画、屋内企画などありますが、京大生の企画さんが発信したいことを楽しそうに表現しているのを見ると今年も企画できて良かったなと思います。また、毎年学外の方もキャンパスに多くいらっしゃいますので、にぎわっている様子を見ると学園祭を支えられることへの誇りを感じます。

——参加者や出店する人たちに注意してほしいことは何ですか？

今年は例年に比べ注意事項や規制がどうしても増える年になってしまいます。企画さんにはその内容を共有していただき、参加者の方にも一緒に11月祭を作っていくという意識を持っていただければと思います。

——今年度の目標を教えてください。

来年度以降の開催のためにも、皆さんにご協力いただき、11月祭を無事に成功させることが目標です。